

## 「竹島に関する世論調査」の概要

内閣府政府広報室

- 1 調査目的 竹島に関する国民の意識を把握し、今後の施策の参考とする。
- 2 調査項目 (1) 国家の要素  
(2) 竹島に関する認知  
(3) 竹島に対する関心  
(4) 竹島に関する広報・啓発活動について
- 3 関係省庁 内閣官房（領土・主権対策企画調整室）
- 4 調査対象 (1) 母集団 全国 18 歳以上の日本国籍を有する者  
(2) 標本数 3,000 人  
(3) 抽出方法 層化 2 段無作為抽出法
- 5 調査時期 令和元年 9 月 26 日～10 月 6 日
- 6 調査方法 調査員による個別面接聴取法
- 7 調査実施機関 一般社団法人 中央調査社
- 8 回収結果 (1) 有効回収数(率) 1,546 人 (51.5%)  
(2) 調査不能数(率) 1,454 人 (48.5%)  
－不能内訳－  
転居 109 長期不在 84 一時不在 619  
住所不明 27 拒否 542 災害 0  
その他 73  
(病気など)

### 9 性・年齢別回収結果

性・年齢	標本数	回収数	回収率	性・年齢	標本数	回収数	回収率	性・年齢	標本数	回収数	回収率			
			%				%				%			
男	18～19歳	71	26	36.6	男	18～19歳	31	14	45.2	女	18～19歳	40	12	30.0
	20～29歳	333	106	31.8	男	20～29歳	166	50	30.1	女	20～29歳	167	56	33.5
	30～39歳	392	184	46.9		30～39歳	200	85	42.5		30～39歳	192	99	51.6
女	40～49歳	528	236	44.7		40～49歳	267	92	34.5		40～49歳	261	144	55.2
	50～59歳	439	249	56.7		50～59歳	206	103	50.0		50～59歳	233	146	62.7
計	60～69歳	469	280	59.7	性	60～69歳	221	131	59.3	性	60～69歳	248	149	60.1
	70歳以上	768	465	60.5		70歳以上	333	196	58.9		70歳以上	435	269	61.8
計		3,000	1,546	51.5	計		1,424	671	47.1	計		1,576	875	55.5

## 調査結果の概要

### 1 国家の要素

#### (1) 国家の要素の認知

国家は、一般的に「領域（領土・領海・領空）」・「住民」・「政府（実効的政治権力を確立している主体）」の3つの要素から成り立っているといわれているが、このことについて知っていたか聞いたところ、「知っていた」と答えた者の割合が63.6%、「知らなかった」と答えた者の割合が32.5%となっている。

前回の調査結果（平成29年7月調査結果をいう。以下同じ。）と比較してみると、「知らなかった」（28.8%→32.5%）と答えた者の割合が上昇している。

性別に見ると、「知っていた」と答えた者の割合は男性で、「知らなかった」と答えた者の割合は女性で、それぞれ高くなっている。（図1、表1）

図1 国家の要素の認知

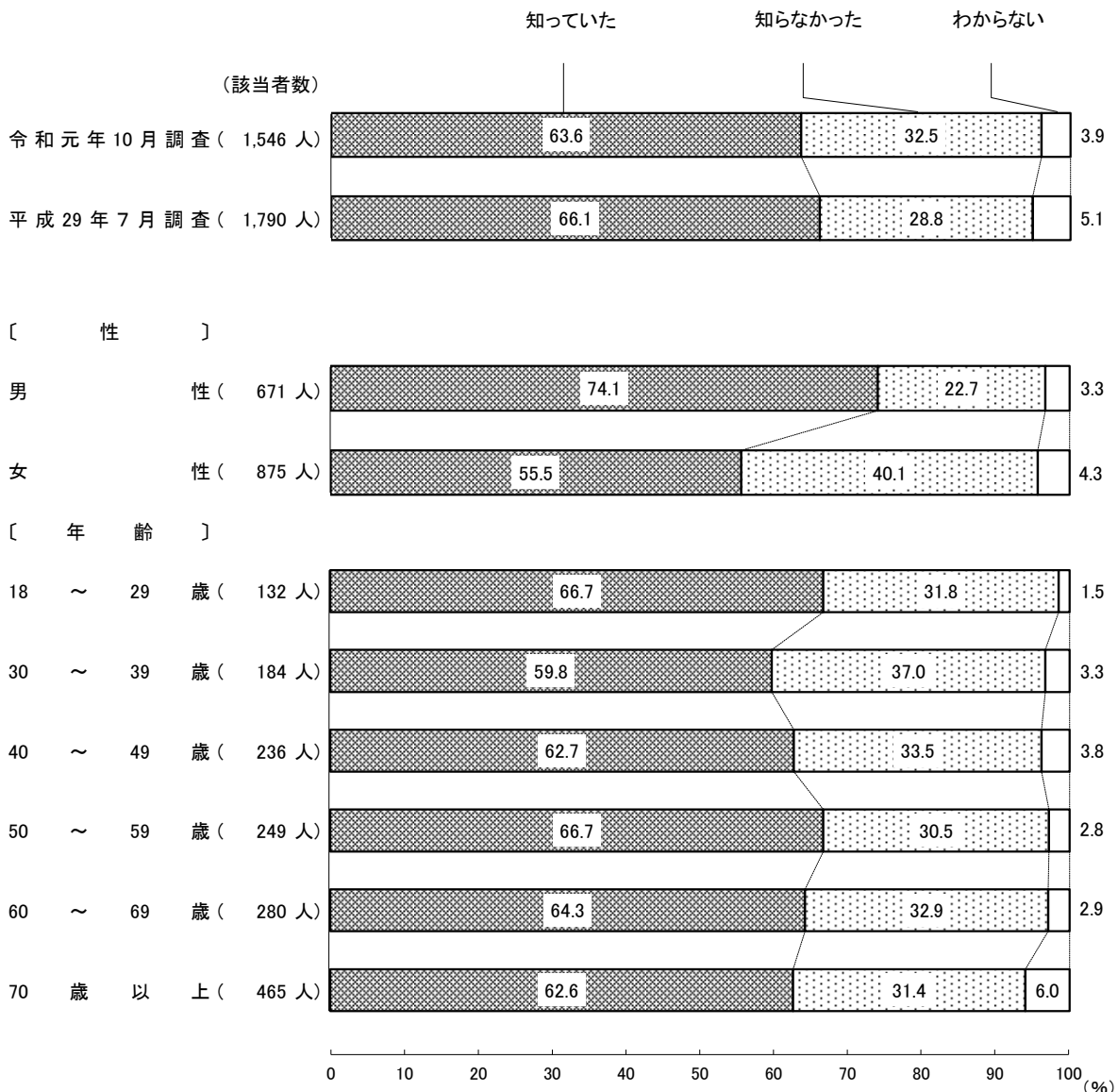


表1 国家の要素の認知

	該 当 者 数	知 っ て い た	知 ら な か っ た	わ か ら な い
	人	%	%	%
総 〔都市規模〕 大 都 市	1,546	63.6	32.5	3.9
東 京 都 区 部 市	405	67.4	27.9	4.7
政 令 指 定 都 市	84	81.0	15.5	3.6
中 都 市	321	63.9	31.2	5.0
小 都 市	592	63.0	32.6	4.4
町 村	382	63.6	34.6	1.8
〔性〕	167	56.3	38.9	4.8
男 性	671	74.1	22.7	3.3
女 性	875	55.5	40.1	4.3
〔年 齢〕				
18 ～ 29 歳	132	66.7	31.8	1.5
30 ～ 39 歳	184	59.8	37.0	3.3
40 ～ 49 歳	236	62.7	33.5	3.8
50 ～ 59 歳	249	66.7	30.5	2.8
60 ～ 69 歳	280	64.3	32.9	2.9
70 歳 以 上	465	62.6	31.4	6.0

表1－参考 国家の要素の認知

	該 当 者 数	知 っ て い た	知 ら な か っ た	わ か ら な い
	人	%	%	%
平成26年11月調査	1,799	63.9	30.9	5.2
平成29年7月調査 (うち20歳以上)	1,761	65.7	29.1	5.2
平成29年7月調査	1,790	66.1	28.8	5.1
令和元年10月調査	1,546	63.6	32.5	3.9

## 2 竹島に関する認知

### (1) 竹島の認知

竹島という島があることを知っていたか聞いたところ、「知っていた」と答えた者の割合が94.5%、「知らなかった」と答えた者の割合が4.5%となっている。

前回の調査結果と比較してみると、大きな変化は見られない。

性別に見ると、「知っていた」と答えた者の割合は男性で高くなっている。

年齢別に見ると、「知っていた」と答えた者の割合は50歳代で高くなっている。

(図2、表2)

図2 竹島の認知

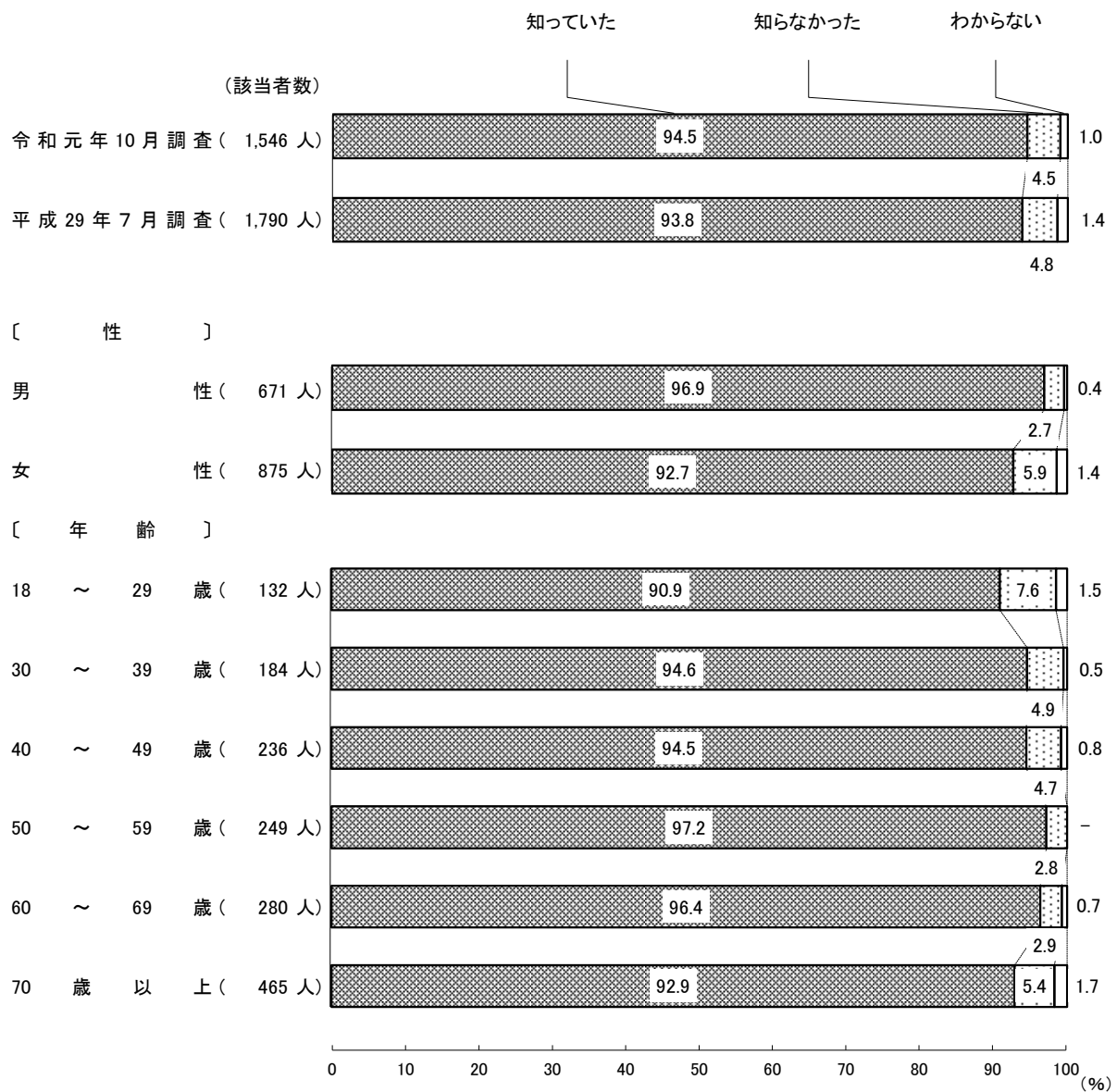


表2 竹島の認知

	該 当 者 数	知 っ て い た	知 ら な か っ た	わ か ら な い
	人	%	%	%
総 〔都市規模〕 大 都 市 東 京 都 区 部 政 令 指 定 都 市 中 都 市 小 都 市 町 村 〔性〕 男 性 女 性 〔年 齢〕 18 ～ 29 歳 30 ～ 39 歳 40 ～ 49 歳 50 ～ 59 歳 60 ～ 69 歳 70 歳 以 上	1,546 405 84 321 592 382 167 671 875 132 184 236 249 280 465	94.5 93.8 94.0 93.8 95.6 94.0 93.4 96.9 92.7 90.9 94.6 94.5 97.2 96.4 92.9	4.5 4.4 6.0 4.0 4.1 4.5 6.6 2.7 5.9 7.6 4.9 4.7 2.8 2.9 5.4	1.0 1.7 - 2.2 0.3 1.6 - 0.4 1.4 1.5 0.5 0.8 - 0.7 1.7

表2－参考 竹島の認知

	該 当 者 数	知 っ て い た	知 ら な か っ た	わ か ら な い
	人	%	%	%
平成25年6月調査	1,784	94.5	5.1	0.4
平成26年11月調査	1,799	95.1	4.1	0.8
平成29年7月調査 (うち20歳以上)	1,761	94.0	4.7	1.4
平成29年7月調査	1,790	93.8	4.8	1.4
令和元年10月調査	1,546	94.5	4.5	1.0

## ア 竹島に関して知っていたこと

竹島という島があることを「知っていた」と答えた者(1,461人)に、竹島に関して、知っていたことを聞いたところ、「竹島は我が国固有の領土であること」を挙げた者の割合が77.7%と最も高く、以下、「竹島には現在も韓国が警備隊員などを常駐させるなどして不法占拠を続けていること」(63.5%)、「我が国が、韓国側が竹島に関する何らかの措置を行う度に、韓国に対して抗議していること」(61.2%)、「竹島は島根県に属すること」(61.1%)、「竹島は日本海南西部に位置していること」(60.4%)などの順となっている。(複数回答、上位5項目)

都市規模別に見ると、「竹島には現在も韓国が警備隊員などを常駐させるなどして不法占拠を続けていること」を挙げた者の割合は大都市で高くなっている。

性別に見ると、「竹島には現在も韓国が警備隊員などを常駐させるなどして不法占拠を続けていること」、「我が国が、韓国側が竹島に関する何らかの措置を行う度に、韓国に対して抗議していること」、「竹島は島根県に属すること」、「竹島は日本海南西部に位置していること」を挙げた者の割合は男性で高くなっている。

年齢別に見ると、「竹島には現在も韓国が警備隊員などを常駐させるなどして不法占拠を続けていること」、「竹島は島根県に属すること」を挙げた者の割合は50歳代、60歳代で、「我が国が、韓国側が竹島に関する何らかの措置を行う度に、韓国に対して抗議していること」を挙げた者の割合は30歳代で、それぞれ高くなっている。(図3、表3)

図3 竹島に関して知っていたこと

(「知っていた」と答えた者に、複数回答)

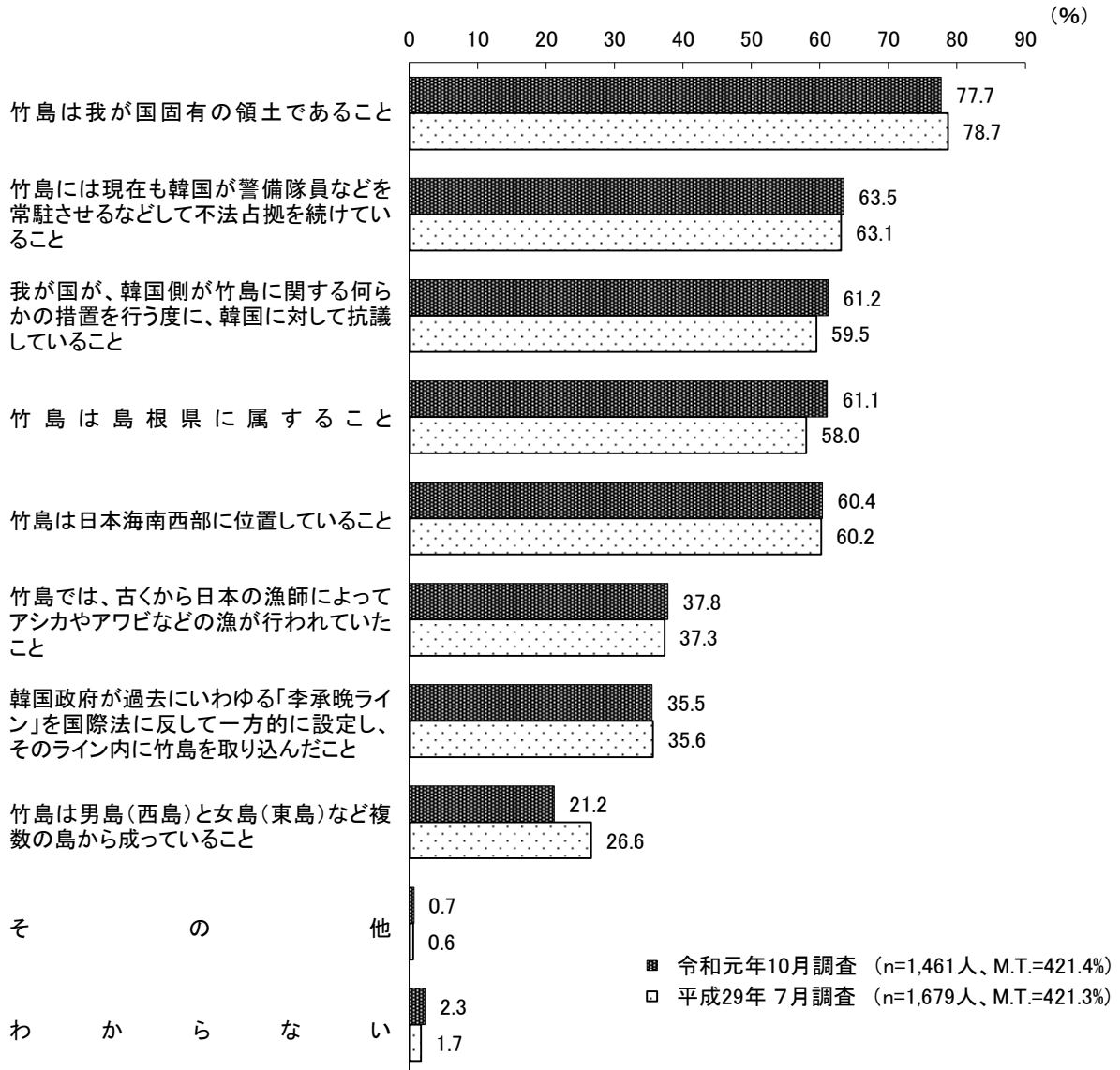


表3 竹島に関して知っていたこと

(「知っていた」と答えた者に、複数回答)

	該 当 者 数	竹島は我が国固有の領土であること	竹島には現在も韓国が警備隊員などを常駐させるなどして不法占拠を続けていること	我が国が、韓国側が竹島に関する何らかの措置を行う度に、韓国に対して抗議していること	竹島は島根県に属すること	竹島は日本海西南部に位置していること	竹島では、古くから日本の漁師によつてアシカやアワビなどの漁が行われていたこと	韓国政府が過去にいわゆる「李承晩ライン」を国際法に反して一方的に設定し、そのライン内に竹島を取り込んだこと	竹島は男島(西島)と女島(東島)など複数の島から成っていること	その他	わからない	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総〔都市規模〕	1,461	77.7	63.5	61.2	61.1	60.4	37.8	35.5	21.2	0.7	2.3	421.4
大都市	380	80.5	70.0	62.6	63.4	64.5	41.1	39.2	20.3	-	1.3	442.9
東京都	79	73.4	69.6	69.6	65.8	60.8	41.8	45.6	24.1	-	-	450.6
政令指定都市	301	82.4	70.1	60.8	62.8	65.4	40.9	37.5	19.3	-	1.7	440.9
中都市	566	75.1	64.0	62.9	60.2	60.2	38.2	36.2	22.6	0.7	3.7	423.9
小都市	359	78.0	58.8	58.2	61.8	58.2	36.2	34.0	19.5	0.6	1.9	407.2
町〔性〕	156	79.5	57.1	58.3	56.4	56.4	32.1	27.6	22.4	2.6	0.6	392.9
男	650	78.3	72.3	66.0	71.8	70.0	46.2	44.3	23.5	0.5	1.4	474.3
女	811	77.2	56.5	57.3	52.4	52.8	31.1	28.5	19.4	0.9	3.1	379.0
〔年齢〕												
18～29歳	120	64.2	50.8	55.8	43.3	59.2	19.2	20.8	15.0	1.7	4.2	334.2
30～39歳	174	83.3	63.8	69.0	46.6	62.1	29.3	27.0	18.4	0.6	1.7	401.7
40～49歳	223	78.9	60.5	62.8	55.2	57.0	34.5	36.8	21.5	0.9	1.3	409.4
50～59歳	242	81.4	70.7	65.3	69.8	65.3	44.6	38.8	18.2	0.4	0.8	455.4
60～69歳	270	76.3	68.9	62.6	70.0	65.6	40.7	38.5	19.3	0.4	2.2	444.4
70歳以上	432	77.3	61.1	55.6	64.4	56.0	42.4	38.7	26.9	0.7	3.5	426.4



表3－参考 竹島に関して知っていたこと

(「知っていた」と答えた者に、複数回答)

	該 当 者 数	竹島は我が国固有の領土であること (注1)	竹島には現在も韓国が警備隊員などを常駐させるなどして不法占拠を続けていること	我が国が、韓国側が竹島に関する何らかの措置を行う度に、韓国側に対して抗議していること	竹島は島根県に属すること	竹島は日本海西南部に位置していること	竹島では、古くから日本の漁師によってアシカやアワビなどの漁が行われていたこと	竹島は、韓国政府が過去に一方的に設定し、そのライン内に竹島を取り込んだこと	韓国政府が過去にいわゆる「李承晩ライン」を国際法に反して一方的に設定し、そのライン内に竹島を取り込んだこと	竹島は男島(西島)と女島(東島)など複数の島から成っていること(注2)	その他	わからない	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成25年6月調査	1,685	※	63.1	53.1	62.0	58.9	41.0	37.1	24.4	1.2	2.1	403.6	
平成26年11月調査	1,711	77.0	63.7	54.6	60.0	61.4	42.3	34.0	28.9	0.4	2.3	424.4	
平成29年7月調査 (うち20歳以上)	1,655	78.9	63.2	59.6	58.3	60.3	37.7	36.0	26.8	0.6	1.7	423.0	
平成29年7月調査	1,679	78.7	63.1	59.5	58.0	60.2	37.3	35.6	26.6	0.6	1.7	421.3	
令和元年10月調査	1,461	77.7	63.5	61.2	61.1	60.4	37.8	35.5	21.2	0.7	2.3	421.4	

(注1) 平成25年6月調査では、「竹島は歴史的にも国際法上も明らかに我が国固有の領土であること」となっている(回答比率60.7%)。

(注2) 平成26年11月調査までは、「竹島は東島(女島)と西島(男島)の2つの島などから成っていること」となっている。

## イ 竹島の認知経路

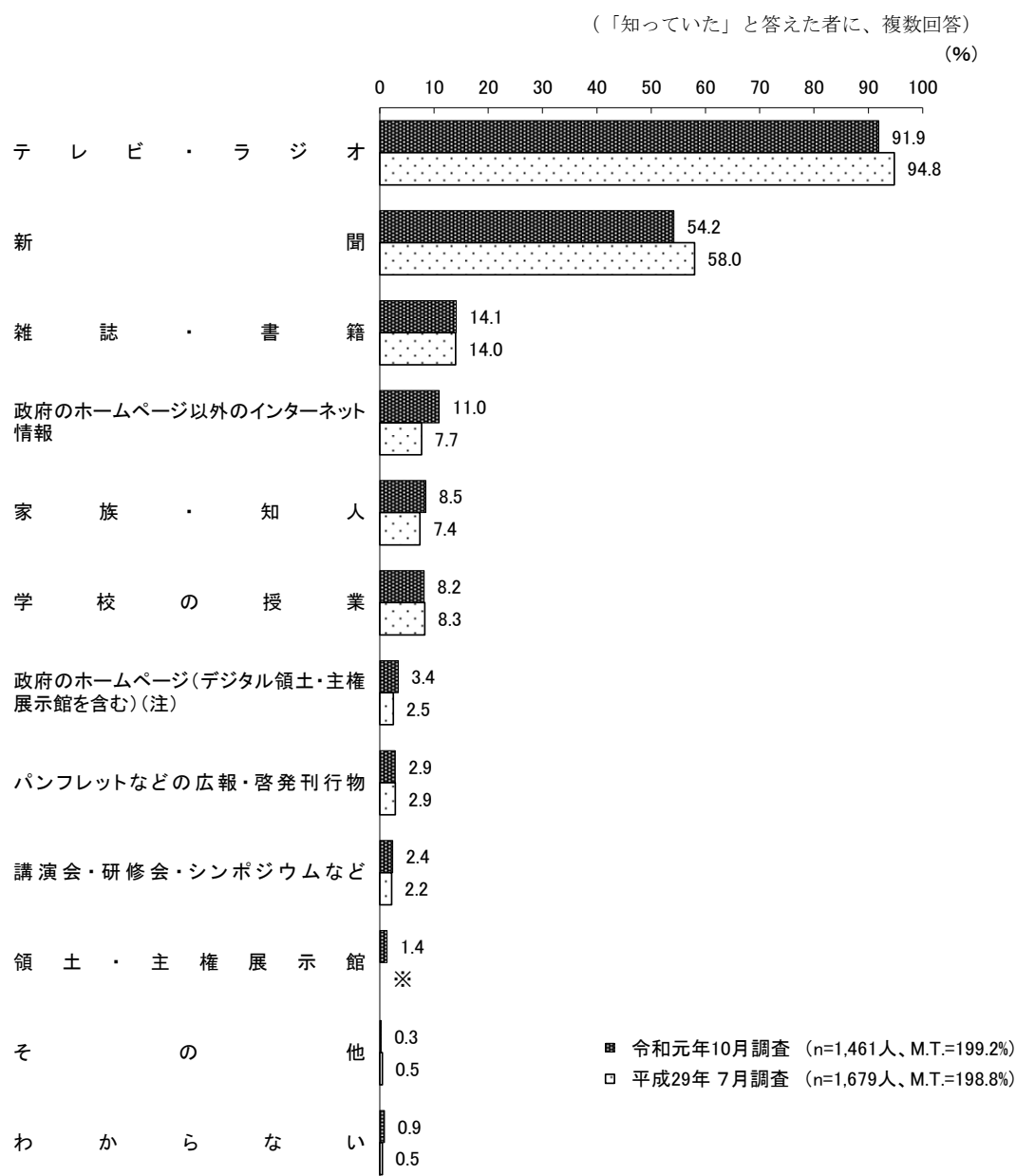
竹島という島があることを「知っていた」と答えた者（1,461人）に、竹島に関して、何から知ったか聞いたところ、「テレビ・ラジオ」を挙げた者の割合が91.9%と最も高く、以下、「新聞」（54.2%）、「雑誌・書籍」（14.1%）などの順となっている。（複数回答、上位3項目）

前回の調査結果と比較してみると、「テレビ・ラジオ」（94.8%→91.9%）、「新聞」（58.0%→54.2%）を挙げた者の割合が低下している。

性別に見ると、「テレビ・ラジオ」を挙げた者の割合は女性で、「新聞」、「雑誌・書籍」を挙げた者の割合は男性で、それぞれ高くなっている。

年齢別に見ると、「新聞」を挙げた者の割合は60歳代、70歳以上で、「雑誌・書籍」を挙げた者の割合は60歳代で、それぞれ高くなっている。（図4、表4）

図4 竹島の認知経路



(注) 平成29年7月調査では、「政府のホームページ」となっている。

表4 竹島の認知経路

(「知っていた」と答えた者に、複数回答)

	該 当 者 数	テ レ ビ ・ ラ ジ オ	新 聞	雑 誌 ・ 書 籍	政 府 の ホ ー ム ペ ー ジ 以 外 の イ ン タ ー ネ ッ ト 情 報	家 族 ・ 知 人	学 校 の 授 業	政 府 の ホ ー ム ペ ー ジ ( デ ジ タ ル 領 土 ・ 主 権 展 示 館 を 含 む	パ ン フ レ ッ ト な ど の 広 報 ・ 啓 発 刊 行 物	講 演 会 ・ 研 修 会 ・ シ ン ポ ジ ウ ム な ど	領 土 ・ 主 権 展 示 館	そ の 他	わ か ら な い	計 ( M. T. )
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総 〔 都 市 規 模 〕	1,461	91.9	54.2	14.1	11.0	8.5	8.2	3.4	2.9	2.4	1.4	0.3	0.9	199.2
大 都 市	380	92.6	56.1	14.2	12.4	8.7	8.4	4.7	4.5	2.6	1.3	0.8	0.5	206.8
東 京 都 区	79	91.1	48.1	15.2	11.4	6.3	13.9	2.5	7.6	3.8	2.5	-	-	202.5
政 令 指 定 都 市	301	93.0	58.1	14.0	12.6	9.3	7.0	5.3	3.7	2.3	1.0	1.0	0.7	208.0
中 都 市	566	90.3	53.0	16.3	11.1	9.2	8.8	3.0	1.8	2.1	1.4	0.4	1.1	198.4
小 都 市	359	93.6	52.1	13.1	10.6	8.1	8.6	2.8	3.3	2.5	0.3	-	0.8	195.8
町 村	156	91.7	59.0	8.3	8.3	6.4	4.5	3.2	1.9	2.6	4.5	-	1.3	191.7
〔 性 〕														
男 性	650	89.1	62.8	20.6	15.4	4.9	8.0	5.1	3.2	3.4	2.2	0.6	0.5	215.7
女 性	811	94.1	47.3	8.9	7.5	11.3	8.4	2.1	2.6	1.6	0.9	0.1	1.2	186.1
〔 年 齢 〕														
18 ～ 29 歳	120	81.7	25.8	9.2	16.7	5.8	31.7	5.0	3.3	2.5	2.5	-	2.5	186.7
30 ～ 39 歳	174	93.1	34.5	7.5	19.0	10.9	13.2	3.4	1.7	1.1	2.3	-	0.6	187.4
40 ～ 49 歳	223	90.1	47.5	10.3	17.9	7.6	8.5	5.4	1.8	1.8	0.4	-	0.9	192.4
50 ～ 59 歳	242	93.4	55.0	17.4	10.7	6.6	5.4	3.3	2.9	1.2	1.7	-	0.8	198.3
60 ～ 69 歳	270	94.4	67.8	19.6	10.0	5.2	1.9	2.6	3.0	3.0	1.1	0.4	-	208.9
70 歳 以 上	432	92.6	64.6	14.8	3.5	11.8	5.1	2.5	3.7	3.5	1.4	0.9	1.2	205.6

表4－参考 竹島の認知経路

(「知っていた」と答えた者に、複数回答)

	該 当 者 数	テ レ ビ ・ ラ ジ オ	新 聞	雑 誌 ・ 書 籍	政府のホームページ 以外のインターネット 情報(注1)	家 族 ・ 知 人	学 校 の 授 業	主権展示館を含む (注2)	政府のホームページ (デジタル領土・ 主権展示館を含む)	パンフレットなどの 広報・啓発刊行物	講演会・研修会・ シンポジウムなど	領土・主権 展示館	そ の 他	わ か ら な い	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成25年6月調査	1,685	96.1	67.4	16.6	6.4	9.0	5.9	1.8	2.8	2.0	※	0.3	0.1	208.4	
平成26年11月調査	1,711	96.3	65.6	16.7	9.2	10.1	6.3	2.9	3.3	2.6	※	0.5	0.4	213.9	
平成29年7月調査 (うち20歳以上)	1,655	95.0	58.4	14.1	7.7	7.5	8.0	2.5	3.0	2.2	※	0.5	0.5	199.3	
平成29年7月調査	1,679	94.8	58.0	14.0	7.7	7.4	8.3	2.5	2.9	2.2	※	0.5	0.5	198.8	
令和元年10月調査	1,461	91.9	54.2	14.1	11.0	8.5	8.2	3.4	2.9	2.4	1.4	0.3	0.9	199.2	

(注1) 平成25年6月調査では、「首相官邸・外務省ホームページ以外のインターネット情報」となっている。

(注2) 平成25年6月調査では、「首相官邸・外務省ホームページ」となっている。

平成29年7月調査までは、「政府のホームページ」となっている。

### 3 竹島に対する関心

#### (1) 竹島に対する関心度

竹島に関して、関心があるか聞いたところ、「関心がある」とする者の割合が 63.7%（「関心がある」25.0%＋「どちらかといえば関心がある」38.7%）、「関心がない」とする者の割合が 34.0%（「どちらかといえば関心がない」22.2%＋「関心がない」11.8%）となっている。

前回の調査結果と比較してみると、「関心がある」（59.3%→63.7%）とする者の割合が上昇している。

性別に見ると、「関心がある」とする者の割合は男性で、「関心がない」とする者の割合は女性で、それぞれ高くなっている。

年齢別に見ると、「関心がある」とする者の割合は 50 歳代で、「関心がない」とする者の割合は 18～29 歳で、それぞれ高くなっている。（図 5、表 5）

図 5 竹島に対する関心度

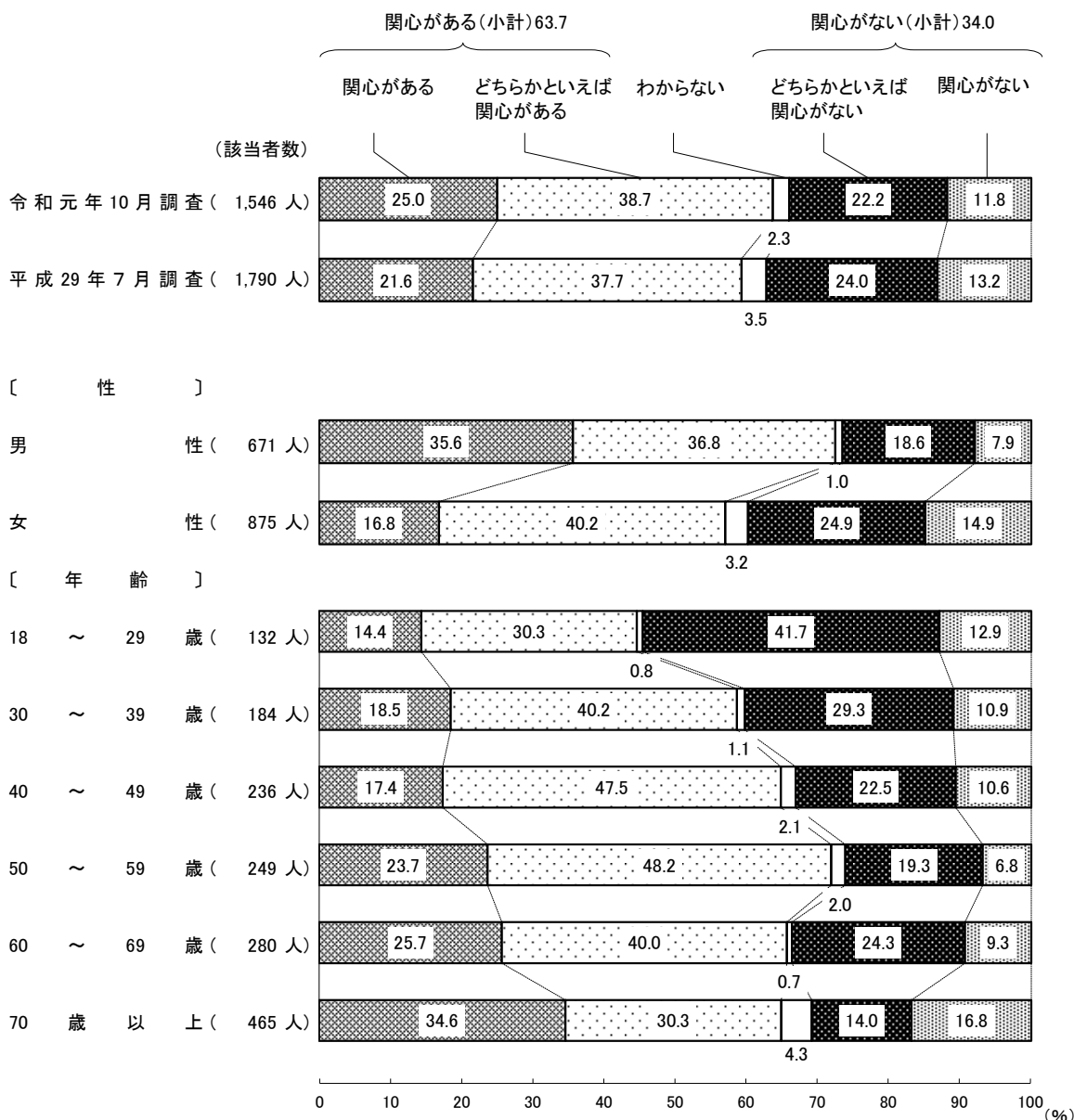


表5 竹島に対する関心度

	該 当 者 数	関 心 が (小あ 計) る			関 心 が (小な 計) い			わ か ら な い
		関 心 が あ る	ど ち ら か と い え ば 関 心 が あ る	関 心 が あ る	ど ち ら か と い え ば 関 心 が あ る	関 心 が あ る	ど ち ら か と い え ば 関 心 が あ る	
総 〔都市規模〕 大 都 市 東 京 都 区 政 令 指 定 都 市 中 都 市 小 都 市 町 村 〔性〕 男 性 女 性 〔年 齢〕 18 ～ 29 歳 30 ～ 39 歳 40 ～ 49 歳 50 ～ 59 歳 60 ～ 69 歳 70 歳 以 上	1,546 405 84 321 592 382 167 671 875 132 184 236 249 280 465	63.7 65.2 67.9 64.5 63.2 61.5 67.1 72.4 57.0 44.7 58.7 64.8 71.9 65.7 64.9	25.0 26.2 28.6 25.5 24.7 23.8 25.7 35.6 16.8 14.4 18.5 17.4 23.7 25.7 34.6	38.7 39.0 39.3 38.9 38.5 37.7 41.3 36.8 40.2 30.3 40.2 47.5 48.2 40.0 30.3	34.0 32.1 29.8 32.7 35.1 34.8 32.9 26.5 39.8 54.5 40.2 33.1 26.1 33.6 30.8	22.2 21.5 21.4 21.5 23.5 22.3 19.2 18.6 24.9 41.7 29.3 22.5 19.3 24.3 14.0	11.8 10.6 8.3 11.2 11.7 12.6 13.8 7.9 14.9 12.9 10.9 10.6 6.8 9.3 16.8	2.3 2.7 2.4 2.8 1.7 3.7 - 1.0 3.2 0.8 1.1 2.1 2.0 0.7 4.3

表5-参考 竹島に対する関心度

	該 当 者 数	関 心 が (小あ 計) る			関 心 が (小な 計) い			わ か ら な い
		関 心 が あ る	ど ち ら か と い え ば 関 心 が あ る	関 心 が あ る	ど ち ら か と い え ば 関 心 が あ る	関 心 が あ る	ど ち ら か と い え ば 関 心 が あ る	
平成 25 年 6 月 調 査 平成 26 年 11 月 調 査 平成 29 年 7 月 調 査 (うち 20 歳 以 上 ) 平成 29 年 7 月 調 査 令和 元 年 10 月 調 査	1,784 1,799 1,761 1,790 1,546	71.1 66.9 59.8 59.3 63.7	27.5 26.3 21.9 21.6 25.0	43.6 40.6 37.9 37.7 38.7	28.0 30.7 36.7 37.2 34.0	18.1 21.1 23.9 24.0 22.2	9.9 9.6 12.8 13.2 11.8	1.0 2.4 3.5 3.5 2.3

ア 竹島への関心内容

竹島に関して、「関心がある」または「どちらかといえば関心がある」と答えた者（985人）に、具体的にどのようなことに関心があるか聞いたところ、「我が国の竹島領有の正当性」を挙げた者の割合が71.5%と最も高く、以下、「歴史的経緯」（47.9%）、「日韓関係に与える影響」（37.4%）、「韓国の主張」（33.0%）、「我が国の政府や地方自治体の対応・取組状況」（33.0%）などの順となっている。（複数回答、上位5項目）

性別に見ると、「日韓関係に与える影響」を挙げた者の割合は女性で高くなっている。

（図6、表6）

図6 竹島への関心内容

（「関心がある」または「どちらかといえば関心がある」と答えた者に、複数回答）

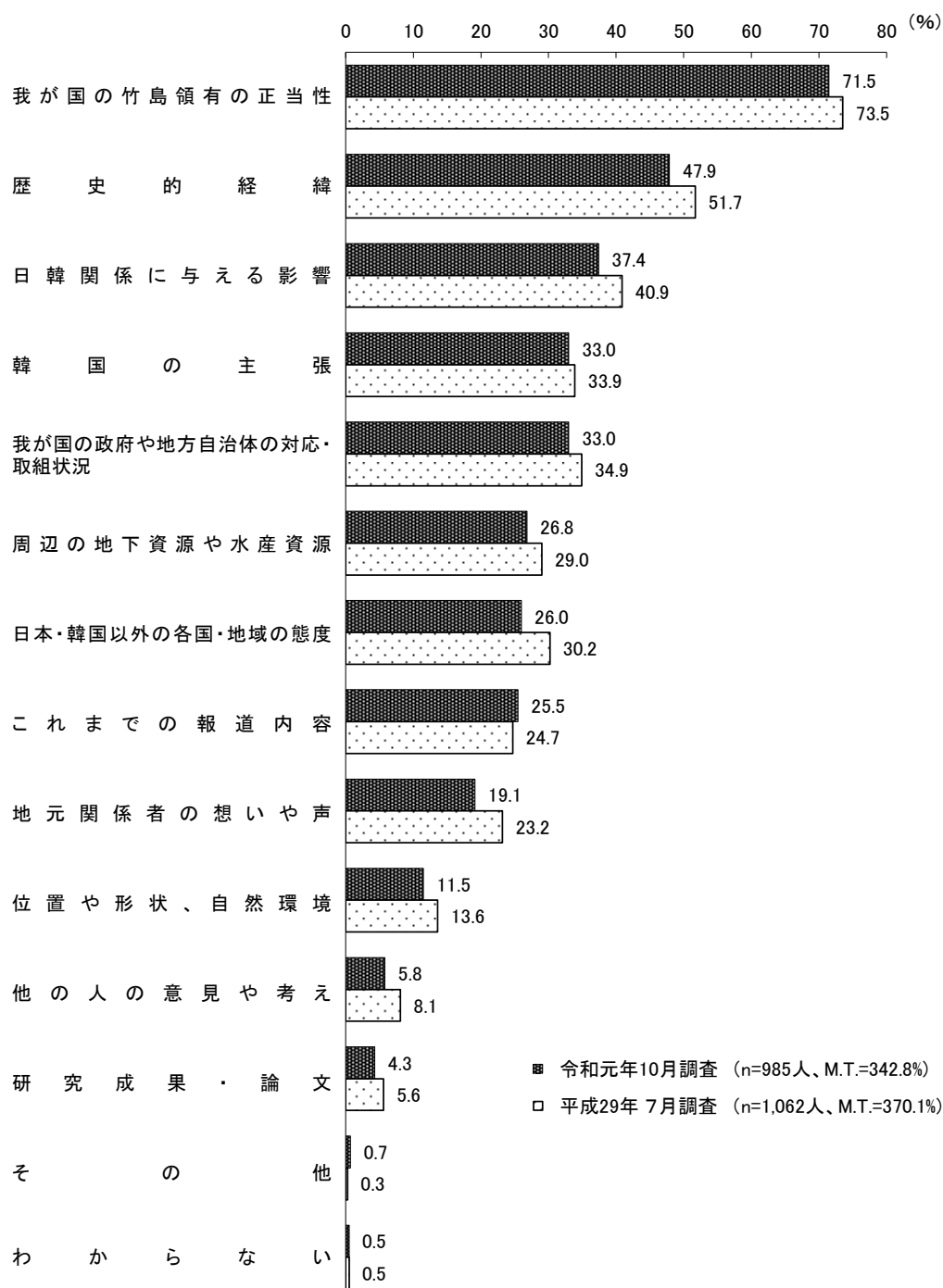


表6 竹島への関心内容

(「関心がある」または「どちらかといえば関心がある」と答えた者に、複数回答)

	該 当 者 数	我が 国 の 竹 島 領 有 の 正 当 性	歴 史 的 経 緯	日 韓 関 係 に 与 え る 影 響	韓 国 の 主 張	我が 国 の 政 府 や 地 方 自 治 体 の 対 応 ・ 取 組 状 況	周 辺 の 地 下 資 源 や 水 産 資 源	日 本 ・ 韓 国 以 外 の 各 国 ・ 地 域 の 態 度	こ れ ま で の 報 道 内 容	地 元 関 係 者 の 想 い や 声	位 置 や 形 状 、 自 然 環 境	他 の 人 の 意 見 や 考 え	研 究 成 果 ・ 論 文	そ の 他	わ か ら な い	計 ( M. T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総数	985	71.5	47.9	37.4	33.0	33.0	26.8	26.0	25.5	19.1	11.5	5.8	4.3	0.7	0.5	342.8
〔都市規模〕																
大都市	264	72.3	54.9	42.0	35.2	31.4	25.0	25.8	24.2	24.6	9.8	9.1	3.4	0.8	0.4	359.1
東京都区部	57	71.9	57.9	42.1	36.8	19.3	21.1	26.3	8.8	22.8	8.8	8.8	3.5	-	-	328.1
政令指定都市	207	72.5	54.1	42.0	34.8	34.8	26.1	25.6	28.5	25.1	10.1	9.2	3.4	1.0	0.5	367.6
中都市	374	72.5	46.3	41.7	35.3	36.1	28.1	27.3	27.8	19.3	10.7	3.7	5.3	0.5	0.5	355.1
小都市	235	70.6	40.9	31.1	30.2	30.6	26.4	28.1	22.6	13.2	10.2	5.1	3.8	0.4	-	313.2
町村	112	67.9	51.8	25.0	25.9	31.3	27.7	17.9	26.8	17.9	20.5	6.3	3.6	1.8	1.8	325.9
〔性別〕																
男性	486	72.2	47.7	33.1	30.7	35.0	28.2	23.5	22.6	15.6	10.1	4.9	4.5	1.4	0.6	330.2
女性	499	70.7	48.1	41.5	35.3	31.1	25.5	28.5	28.3	22.4	12.8	6.6	4.0	-	0.4	355.1
〔年齢〕																
18～29歳	59	55.9	30.5	42.4	32.2	35.6	25.4	40.7	22.0	18.6	18.6	16.9	1.7	-	-	340.7
30～39歳	108	75.9	57.4	38.0	41.7	40.7	29.6	35.2	31.5	19.4	13.0	6.5	9.3	-	-	398.1
40～49歳	153	73.2	38.6	39.2	35.3	32.7	24.2	34.6	28.8	16.3	9.2	7.2	3.3	0.7	-	343.1
50～59歳	179	76.5	50.8	43.6	36.3	33.0	24.0	20.1	24.6	20.1	6.1	5.6	3.4	-	0.6	344.7
60～69歳	184	70.1	52.2	36.4	33.2	34.2	26.1	32.1	26.1	19.6	10.3	4.3	4.9	-	0.5	350.0
70歳以上	302	69.9	48.3	32.1	26.8	29.1	29.5	15.2	22.5	19.5	14.6	3.6	3.6	2.0	1.0	317.9

表6－参考 竹島への関心内容

(「関心がある」または「どちらかといえば関心がある」と答えた者に、複数回答)

	該 当 者 数	我が 国 の 竹 島 領 有 の 正 当 性	歴 史 的 経 緯	日 韓 関 係 に 与 え る 影 響	韓 国 の 主 張	我が 国 の 政 府 や 地 方 自 治 体 の 対 応 ・ 取 組 状 況	周 辺 の 地 下 資 源 や 水 産 資 源	日 本 ・ 韓 国 以 外 の 各 国 ・ 地 域 の 態 度	こ れ ま で の 報 道 内 容	地 元 関 係 者 の 想 い や 声	位 置 や 形 状 、 自 然 環 境	他 の 人 の 意 見 や 考 え	研 究 成 果 ・ 論 文	そ の 他	わ か ら な い	計 ( M. T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成25年6月調査	1,268	67.1	53.9	※	28.7	38.6	35.6	29.6	25.7	23.3	14.5	5.2	4.8	0.6	0.5	328.1
平成26年11月調査	1,203	72.7	49.8	46.3	33.1	36.0	33.3	32.6	26.4	22.0	15.4	7.0	4.8	0.3	0.3	380.1
平成29年7月調査 (うち20歳以上)	1,053	73.5	51.7	40.8	33.8	35.0	29.2	30.2	24.8	23.2	13.5	8.1	5.7	0.3	0.5	370.3
平成29年7月調査	1,062	73.5	51.7	40.9	33.9	34.9	29.0	30.2	24.7	23.2	13.6	8.1	5.6	0.3	0.5	370.1
令和元年10月調査	985	71.5	47.9	37.4	33.0	33.0	26.8	26.0	25.5	19.1	11.5	5.8	4.3	0.7	0.5	342.8



イ 竹島に関心がない理由

竹島に関して、「どちらかといえば関心がない」または「関心がない」と答えた者（526人）に、関心がない理由は何か聞いたところ、「自分の生活にあまり影響がないことだと思うから」を挙げた者の割合が59.5%と最も高く、以下、「竹島に関して知る機会や考える機会がなかったから」（31.0%）などの順となっている。（複数回答、上位2項目）

前回の調査結果と比較してみると、大きな変化は見られない。（図7、表7）

図7 竹島に関心がない理由

（「どちらかといえば関心がない」または「関心がない」と答えた者に、複数回答）

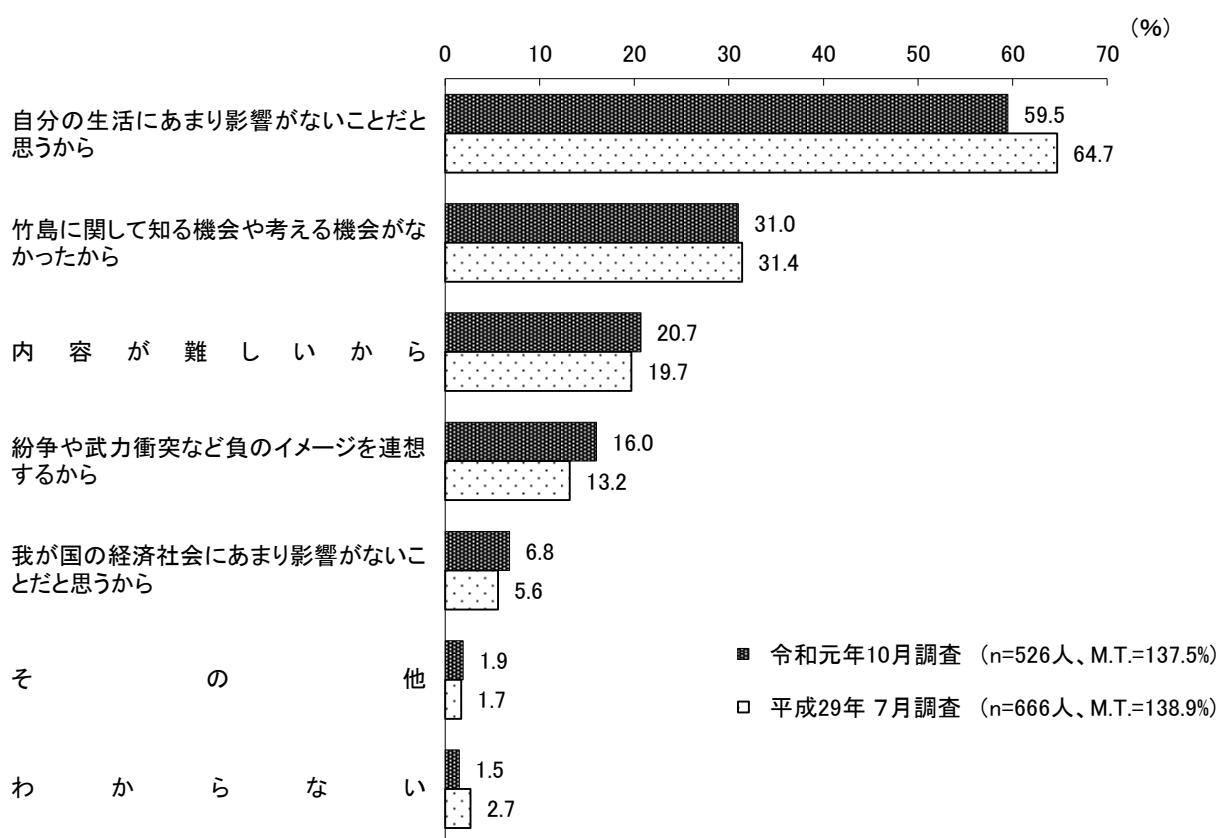


表7 竹島に関心がない理由

(「どちらかといえば関心がない」または「関心がない」と答えた者に、複数回答)

	該 当 者 数	だ 自 分 の 生 活 に あ ま り 影 響 が な い こ と	が 竹 島 に 関 心 が な か つ た か ら	内 容 が 難 し い か ら	連 紛 争 や 武 力 衝 突 な ど 負 の イ メ ー ジ を	い 我 が 国 の 経 済 社 会 に あ ま り 影 響 が な い こ と だ と 思 う か ら	そ の 他	わ か ら な い	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%
総 〔都 市 規 模〕	526	59.5	31.0	20.7	16.0	6.8	1.9	1.5	137.5
大 都 市	130	61.5	29.2	17.7	19.2	8.5	2.3	1.5	140.0
東 京 都 区	25	68.0	44.0	12.0	20.0	8.0	-	-	152.0
政 令 指 定 都 市	105	60.0	25.7	19.0	19.0	8.6	2.9	1.9	137.1
中 都 市	208	54.8	32.2	18.3	16.3	5.8	1.4	1.4	130.3
小 都 市	133	66.2	31.6	18.8	14.3	8.3	1.5	1.5	142.1
町 村	55	56.4	29.1	41.8	10.9	3.6	3.6	1.8	147.3
〔性〕									
男	178	59.0	29.8	12.4	19.7	12.4	2.8	1.1	137.1
女	348	59.8	31.6	25.0	14.1	4.0	1.4	1.7	137.6
〔年 齢〕									
18 ～ 29 歳	72	51.4	41.7	16.7	19.4	4.2	1.4	-	134.7
30 ～ 39 歳	74	58.1	40.5	16.2	23.0	6.8	-	-	144.6
40 ～ 49 歳	78	47.4	35.9	25.6	15.4	5.1	2.6	1.3	133.3
50 ～ 59 歳	65	53.8	24.6	16.9	24.6	7.7	3.1	1.5	132.3
60 ～ 69 歳	94	71.3	34.0	20.2	17.0	11.7	2.1	-	156.4
70 歳 以 上	143	65.7	18.9	24.5	6.3	5.6	2.1	4.2	127.3

表7-参考 竹島に関心がない理由

(「どちらかといえば関心がない」または「関心がない」と答えた者に、複数回答)

	該 当 者 数	だ 自 分 の 生 活 に あ ま り 影 響 が な い こ と	が 竹 島 に 関 心 が な か つ た か ら	内 容 が 難 し い か ら	連 紛 争 や 武 力 衝 突 な ど 負 の イ メ ー ジ を	い 我 が 国 の 経 済 社 会 に あ ま り 影 響 が な い こ と だ と 思 う か ら	そ の 他	わ か ら な い	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%
平 成 25 年 6 月 調 査	499	54.9	41.3	19.6	18.8	4.4	1.6	3.0	143.7
平 成 26 年 11 月 調 査	552	64.1	35.7	20.5	15.6	8.7	3.1	1.3	148.9
平 成 29 年 7 月 調 査 ( う ち 20 歳 以 上)	646	64.7	31.6	19.5	13.3	5.6	1.7	2.8	139.2
平 成 29 年 7 月 調 査	666	64.7	31.4	19.7	13.2	5.6	1.7	2.7	138.9
令 和 元 年 10 月 調 査	526	59.5	31.0	20.7	16.0	6.8	1.9	1.5	137.5

#### 4 竹島に関する広報・啓発活動について

##### (1) 竹島への関心を深めるための取組

広く国民が、竹島に関して、関心を深めるためには、どのような取組が必要だと思うか聞いたところ、「テレビ・ラジオ番組や新聞を利用した詳細な情報の提供」を挙げた者の割合が76.2%と最も高く、以下、「インターネット・ホームページ、フェイスブックやツイッターなどのSNSによる広報」(37.5%)、「テレビ・ラジオCMの放送」(28.3%)、「領土・主権展示館\*の周知、内容・イベントの充実(\*竹島、尖閣諸島、北方領土が我が国固有の領土であることを示す資料を展示している国の施設)」(27.9%)、「歴史的資料や文献の展覧会の開催」(26.6%)などの順となっている。(複数回答、上位5項目)

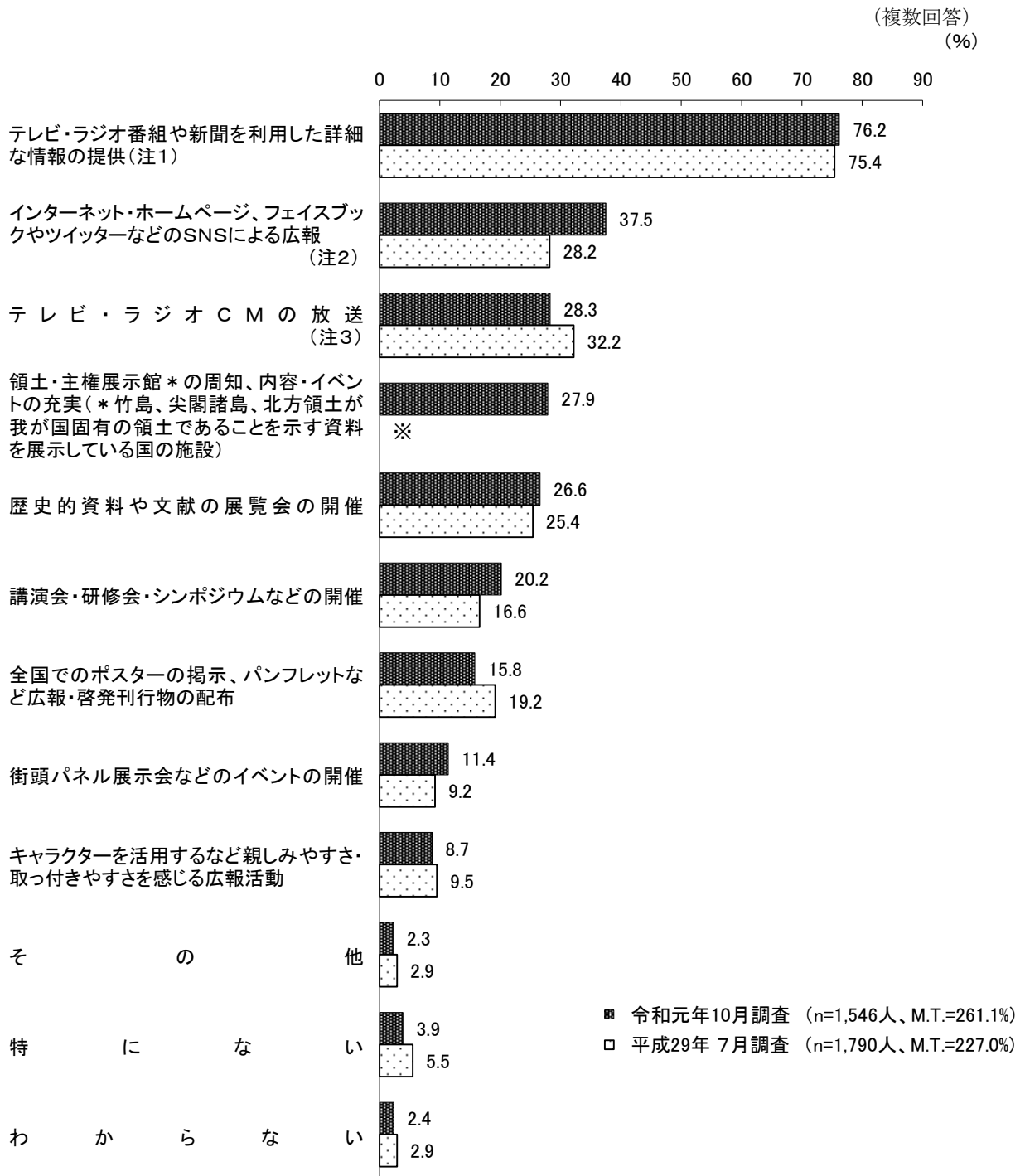
前回の調査結果と比較してみると、「インターネット・ホームページ、フェイスブックやツイッターなどのSNSによる広報」(28.2%→37.5%)を挙げた者の割合が上昇し、「テレビ・ラジオCMの放送」(32.2%→28.3%)を挙げた者の割合が低下している。

都市規模別に見ると、「テレビ・ラジオCMの放送」を挙げた者の割合は町村で高くなっている。

性別に見ると、「領土・主権展示館\*の周知、内容・イベントの充実(\*竹島、尖閣諸島、北方領土が我が国固有の領土であることを示す資料を展示している国の施設)」を挙げた者の割合は男性で高くなっている。

年齢別に見ると、「インターネット・ホームページ、フェイスブックやツイッターなどのSNSによる広報」を挙げた者の割合は18～29歳から50歳代で高くなっている。(図8、表8)

図8 竹島への関心を深めるための取組



(注1) 平成29年7月調査では、「テレビ番組や新聞を利用した詳細な情報の提供」となっている。  
 (注2) 平成29年7月調査では、「見やすさ・わかりやすさを重視したインターネット・ホームページによる広報」となっている。  
 (注3) 平成29年7月調査では、「テレビ・ラジオCMの放映」となっている。

表8 竹島への関心を深めるための取組

(複数回答)

	該 当 者 数	テレビ・ラジオ番組や新聞を利用した詳細な情報の提供	インターネット・ホームページ、フェイスブックやツイッターなどのSNSによる広報	テレビ・ラジオCMの放送	領土・主権展示館*の周知、内容・イベントの充実 (*竹島、尖閣諸島、北方領土が我が国の固有の領土であることを示す資料を展示している国の施設)	歴史的資料や文献の展覧会の開催	講演会・研修会・シンポジウムなどの開催	啓発刊行物の配布	全国でのポスターの掲示、パンフレットなど広報・啓発	街頭パネル展示会などのイベントの開催	キャラクターを活用するなど親しみやすさ・取っ付きやすさを感じる広報活動	その他	特 に な い	わ か ら な い	計 (M.T.)
	人 数	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総数	1,546	76.2	37.5	28.3	27.9	26.6	20.2	15.8	11.4	8.7	2.3	3.9	2.4	261.1	
〔都市規模〕															
大都市	405	74.1	38.3	28.1	31.6	28.1	18.3	17.3	12.6	9.6	2.2	2.7	2.7	265.7	
東京都区部	84	70.2	42.9	27.4	35.7	28.6	21.4	16.7	16.7	8.3	-	2.4	2.4	272.6	
政令指定都市	321	75.1	37.1	28.3	30.5	28.0	17.4	17.4	11.5	10.0	2.8	2.8	2.8	263.9	
中都市	592	74.7	38.9	27.5	26.7	28.5	23.1	15.7	12.0	9.5	2.0	5.4	2.5	266.6	
小都市	382	78.8	35.9	26.4	25.1	24.1	19.4	14.9	9.7	7.3	3.1	3.1	1.8	249.7	
町	167	80.8	34.1	35.3	29.3	21.6	16.2	14.4	10.8	6.6	1.2	3.6	2.4	256.3	
〔性〕															
男性	671	76.6	39.3	29.2	32.0	27.7	19.8	16.7	11.0	7.0	3.1	3.6	0.7	266.9	
女性	875	75.9	36.0	27.5	24.7	25.7	20.5	15.1	11.8	9.9	1.6	4.2	3.7	256.6	
〔年齢〕															
18～29歳	132	70.5	52.3	30.3	27.3	19.7	13.6	22.0	9.1	12.9	-	1.5	-	259.1	
30～39歳	184	69.6	59.8	31.0	24.5	23.4	20.1	16.8	10.3	8.2	0.5	3.8	1.6	269.6	
40～49歳	236	75.8	50.8	25.0	27.5	25.4	19.9	18.2	11.4	8.5	1.3	3.4	2.1	269.5	
50～59歳	249	77.9	43.4	32.5	26.5	25.3	20.5	13.7	12.4	7.2	2.0	3.2	0.8	265.5	
60～69歳	280	78.6	30.0	29.6	28.9	28.9	22.1	17.1	13.2	9.6	3.2	3.2	1.4	266.1	
70歳以上	465	78.3	18.9	25.2	29.7	29.7	20.9	12.7	11.0	8.0	3.7	5.8	4.9	248.6	

表8－参考 竹島への関心を深めるための取組

(複数回答)

	該 当 者 数	テレビ・ラジオ番組や新聞を利用した詳細な情報の提供(注1)	インターネット・ホームページ、フェイスブックやツイッターなどのSNSによる広報(注2)	テレビ・ラジオCMの放映(注3)	領土・主権展示館*の周知、内容・イベントの充実(※*竹島、尖閣諸島、北方領土が我が国固有の領土であることを示す資料を展示している国の施設)	歴史的資料や文献の展覧会の開催	講演会・研修会・シンポジウムなどの開催	全国でのポスターの掲示、パンフレットなど広報・啓発刊行物の配布	街頭パネル展示会などのイベントの開催	キャラクターを活用するなど親しみやすさ・取っ付きやすさを感じる広報活動	その他	特 に な い	わ か ら な い	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成25年6月調査	1,784	77.8	30.7	24.0	※	31.2	21.4	23.8	12.1	9.8	3.0	3.3	1.6	238.6
平成26年11月調査	1,799	75.3	33.4	33.7	※	30.1	19.9	25.0	13.0	10.2	2.7	4.7	2.6	250.4
平成29年7月調査 (うち20歳以上)	1,761	75.6	28.1	32.4	※	25.6	16.9	19.4	9.3	9.5	3.0	5.5	3.0	228.1
平成29年7月調査	1,790	75.4	28.2	32.2	※	25.4	16.6	19.2	9.2	9.5	2.9	5.5	2.9	227.0
令和元年10月調査	1,546	76.2	37.5	28.3	27.9	26.6	20.2	15.8	11.4	8.7	2.3	3.9	2.4	261.1

(注1) 平成29年7月調査までは、「テレビ番組や新聞を利用した詳細な情報の提供」となっている。

(注2) 平成25年6月調査では、「見やすさ・わかりやすさを重視したインターネット・ホームページの開設」となっている。

平成29年7月調査までは、「見やすさ・わかりやすさを重視したインターネット・ホームページによる広報」となっている。

(注3) 平成25年6月調査では、「テレビCMの放映」となっている。

平成29年7月調査までは、「テレビ・ラジオCMの放映」となっている。

# 竹島に関する世論調査

令和元年 10 月

調査時期：令和元年 9 月 26 日から令和元年 10 月 6 日  
調査対象：全国 18 歳以上の日本国籍を有する者 3,000 人  
有効回収数(率)：1,546 人 (51.5%)

話は変わりますが、次に「我が国の領土」に関してお聞きします。

## 1. 国家の要素

(【資料 1】を提示して、調査対象者によく読んでもらってから、以下の質問を行う。)

### 【資料 1】

国家は、一般的に「領域（領土・領海・領空）」・「住民」・「政府（実効的政治権力を確立している主体）」の 3 つの要素から成り立っているといわれています。国家間では、国境の画定や領有関係をめぐる紛争が各地でおこっています。日本もロシアとの北方領土問題、韓国とは島根県の竹島をめぐって領土問題があります。また、中国が沖縄県の尖閣諸島について領有権を主張しています。

Q 1 国家は、一般的に「領域（領土・領海・領空）」・「住民」・「政府（実効的政治権力を確立している主体）」の 3 つの要素から成り立っているといわれていますが、あなたは、このことについて知っていましたか。それとも知らなかったですか。

- (63.6) 知っていた
- (32.5) 知らなかった
- ( 3.9) わからない

## 2. 竹島に関する認知

(【資料2】を提示して、調査対象者によく読んでもらってから、以下の質問を行う。)

### 【資料2】

竹島は、日本本土から約211キロメートル離れた日本海南西部に位置し、男島(西島)と女島(東島)など複数の島から成っています。

我が国が竹島について古くからその存在を認識していたことは、各種の地図や文献からも確認できます。17世紀には、日本人によって、竹島でアシカやアワビなどの漁が行われるなど、遅くとも17世紀半ばには我が国の竹島に対する領有権は確立していたと考えられます。さらに、1905年には閣議決定を行って島根県に編入し、竹島を領有する意思を再確認しました。

戦後、我が国の領土処理を行ったサンフランシスコ平和条約の起草過程において、韓国は、同条約を起草していた米国に対し、日本が放棄すべき地域に竹島を加えるように求めましたが、米国は竹島は日本領であるとして韓国の要請を明確に拒絶しました。このように戦後の国際秩序を構築したサンフランシスコ平和条約において、竹島は我が国の領土であることが確認されています。

しかし、1952年以降、韓国は、いわゆる「李承晩ライン」を国際法に反して一方的に設定し、そのライン内に竹島を取り込むとともに、警備隊員などを常駐させ、宿舎や監視所、灯台、接岸施設などを構築してきました。

韓国による竹島の占拠は国際法上何ら根拠が無いまま行われている不法占拠であり、我が国は、韓国に対して、厳重な抗議を重ねるとともに、その撤回を求めてきています。竹島は、歴史的にも国際法上も明らかに我が国固有の領土です。我が国は、竹島の領有権に関する問題を国際司法裁判所に付託することを提案していますが、韓国はこれを拒否しています。

Q2 あなたは、竹島という島があることを知っていましたか。それとも知らなかったですか。

(94.5) 知っていた  
(4.5) 知らなかった  
(1.0) わからない } (Q3へ)

(Q2で「知っていた」と答えた方に)

SQ1【回答票1】竹島に関して、あなたが知っていたことを、この中からいくつでもあげてください。(M.A.)

(n=1,461)

(60.4) (ア) 竹島は日本海南西部に位置していること

(21.2) (イ) 竹島は男島(西島)と女島(東島)など複数の島から成っていること

(37.8) (ウ) 竹島では、古くから日本の漁師によってアシカやアワビなどの漁が行われていたこと

(61.1) (エ) 竹島は島根県に属すること

(35.5) (オ) 韓国政府が過去にいわゆる「李承晩ライン」を国際法に反して一方的に設定し、そのライン内に竹島を取り込んだこと

(63.5) (カ) 竹島には現在も韓国が警備隊員などを常駐させるなどして不法占拠を続けていること

(61.2) (キ) 我が国が、韓国側が竹島に関する何らかの措置を行う度に、韓国に対して抗議していること

(77.7) (ク) 竹島は我が国固有の領土であること

(0.7) その他 ( )

(2.3) わからない

(M.T.=421.4)



(Q2で「知っていた」と答えた方に)

SQ2【回答票2】あなたは、竹島に関して、何から知りましたか。この中からいくつでもあげてください。(M.A.)

(n=1,461)

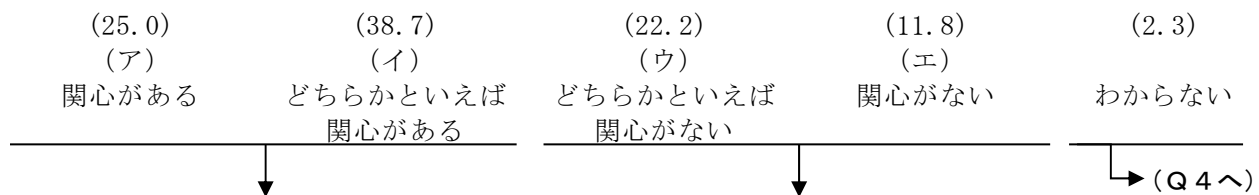
- (91.9) (ア) テレビ・ラジオ
- (54.2) (イ) 新聞
- (14.1) (ウ) 雑誌・書籍
- (2.9) (エ) パンフレットなどの広報・啓発刊行物
- (1.4) (オ) 領土・主権展示館
- (3.4) (カ) 政府のホームページ(デジタル領土・主権展示館を含む)
- (11.0) (キ) 政府のホームページ以外のインターネット情報
- (8.2) (ク) 学校の授業
- (2.4) (ケ) 講演会・研修会・シンポジウムなど
- (8.5) (コ) 家族・知人
- (0.3) その他( )
- (0.9) わからない

(M.T.=199.2)

**3. 竹島に対する関心**

(全員の方に)

Q3【回答票3】あなたは、竹島に関して、関心がありますか。この中から1つだけお答えください。



(Q3で「(ア) 関心がある」、「(イ) どちらかといえば関心がある」と答えた方に)

SQa【回答票4】では、具体的にどのようなことに関心がありますか。この中からいくつでもあげてください。(M.A.)

(n=985)

- (11.5) (ア) 位置や形状、自然環境
- (26.8) (イ) 周辺の地下資源や水産資源
- (47.9) (ウ) 歴史的経緯
- (71.5) (エ) 我が国の竹島領有の正当性
- (33.0) (オ) 韓国の主張
- (26.0) (カ) 日本・韓国以外の各国・地域の態度
- (25.5) (キ) これまでの報道内容
- (33.0) (ク) 我が国の政府や地方自治体の対応・取組状況
- (19.1) (ケ) 地元関係者の想いや声
- (4.3) (コ) 研究成果・論文
- (5.8) (サ) 他の人の意見や考え
- (37.4) (シ) 日韓関係に与える影響
- (0.7) その他( )
- (0.5) わからない

(M.T.=342.8)

(Q3で「(ウ) どちらかといえば関心がない」、「(エ) 関心がない」と答えた方に)

SQb【回答票5】では、関心がない理由は何ですか。この中からいくつでもあげてください。(M.A.)

(n=526)

- (59.5) (ア) 自分の生活にあまり影響がないことだと思うから
- (6.8) (イ) 我が国の経済社会にあまり影響がないことだと思うから
- (16.0) (ウ) 紛争や武力衝突など負のイメージを連想するから
- (31.0) (エ) 竹島に関して知る機会や考える機会がなかったから
- (20.7) (オ) 内容が難しいから
- (1.9) その他( )
- (1.5) わからない

(M.T.=137.5)

#### 4. 竹島に関する広報・啓発活動について

(全員の方に)

Q4【回答票6】あなたは、広く国民が、竹島に関して、関心を深めるためには、どのような取組が必要だと思いますか。この中からいくつでもあげてください。(M.A.)

- (76.2) (ア) テレビ・ラジオ番組や新聞を利用した詳細な情報の提供
- (28.3) (イ) テレビ・ラジオCMの放送
- (8.7) (ウ) キャラクターを活用するなど親しみやすさ・取っ付きやすさを感じる広報活動
- (11.4) (エ) 街頭パネル展示会などのイベントの開催
- (26.6) (オ) 歴史的資料や文献の展覧会の開催
- (20.2) (カ) 講演会・研修会・シンポジウムなどの開催
- (37.5) (キ) インターネット・ホームページ、フェイスブックやツイッターなどのSNSによる広報
- (15.8) (ク) 全国でのポスターの掲示、パンフレットなど広報・啓発刊行物の配布
- (27.9) (ケ) 領土・主権展示館\*の周知、内容・イベントの充実  
( \* 竹島、尖閣諸島、北方領土が我が国固有の領土であることを示す資料を展示している国の施設)
- (2.3) その他 ( )
- (3.9) 特にない
- (2.4) わからない (M.T.=261.1)